



砥粒加工学会 学会活性化フォーラム
in ABTEC2024



「関わってきた CAD/CAM 研究」
「これまでの曲面加工の工具経路導出法は間違いだった！」
「中国におけるものづくりの考え方の一つの分析」

企画: 砥粒加工学会 若手の会「次世代ものづくり技術研究会(通称:山椒魚)」
砥粒加工学会 ABTEC2024 実行委員会

<開催趣旨> 砥粒加工学会は、若手研究者・技術者や学生の学会への参加を促すとともに、学会を継続的に発展させることを目的として、学会活性化フォーラムを開催してきました。ABTEC2024 では若手の会(山椒魚)と ABTEC 実行委員会の共同企画として、慶應義塾大学名誉教授 青山英樹先生の講演会を開催いたします。青山先生は、デジタルデザイン・デジタルマニュファクチャリングを標榜され、CAD/CAM、リバースエンジニアリング、工業デザイン、金属 3D プリンターなど多岐にわたる研究を推進され、今なお活躍されています。若手研究者・技術者はもちろんのこと、多くの皆様の参考になることと確信しておりますので、積極的なご参加を期待しております。

日時: 2024 年 8 月 26 日(月) 17:10~ (ABTEC2024 第 1 日目)
会場: アオーレ長岡 市民交流ホール A
〒940-0062 新潟県長岡市大手通1丁目4-10
<https://ao-re.jp/>

内容:

17:10~18:30 講演会 (会場:アオーレ長岡 市民交流ホール A)

- ①関わってきた CAD/CAM 研究
 - ②これまでの曲面加工の工具経路導出法は間違いだった!
 - ③中国におけるものづくりの考え方の一つの分析
- 慶應義塾大学 名誉教授 青山 英樹 先生



<講演内容> 曲面測定から研究をスタートし、リバースエンジニアリング、工業デザイン CAD、高速高精度加工 CAM、金属 3D プリンター、フェムト秒レーザー加工などを経験し、それらの取り組みとそのときの気持ち(モチベーション)について、お伝えします。また、CAM が曲面加工において工具経路を導出する際の考え方(アルゴリズム)とは正反対の考え方の方が、高速・高精度加工を実現できることが明らかになってきましたので、それについて解説します。最後に、中国において、日本と大きく異なった考え方・取り組み方でものづくりに挑戦していると思えることについて、一つの分析として皆さんとディスカッションしたいと思います。

18:30~ 交流会 (会場:市民交流ホール B C (予定))

○講演会および交流会の参加費: 1,000 円(税抜 909 円+税 91 円)(学生の方、非会員の方も含め、一律の価格です。アルコールを含む飲み物、軽食を準備しています。).

○活性化フォーラムの参加資格: 実年齢が 40 歳以下、ならびに気持ち年齢が 40 歳以下(自称)の若手研究者・技術者は大歓迎です。ただし、実年齢が 40 歳以上の参加希望者は、40 歳以下の若手を積極的に引率してご参加願います。学生の参加も大歓迎です。

○参加申込方法: 準備の都合がありますので、講演会・交流会へ参加を希望される方は ABTEC2024 参加登録ホームページ(<https://www.scoop-japan.com/kaigi/abtec/>)より、事前登録いただきますようお願いいたします。